大仙市立中仙小学校学校報　令和５年度　NO.１３　令和５年６月２９日

夢に向かって　笑顔いっぱい　みんなでチャレンジ

輝く ひとみ

“楽らく 笑SHOW”な学校　　なか１０００笑楽校

プールも　準備OK！

“楽笑タイム”　あいさつ集会

さまざまな委員会活動や学級のイベントで楽しむ“楽笑タイム”。今年は、「楽笑委員会」が生まれ、より活性化しています。

２７日には、全校のあいさつ運動をリードしている運営委員会が楽しいパフォーマンスで全校を大笑いにしてくれました。

特に、男５人のプリキュアは最高でした。元気なあいさつをされると、ダメージを受ける、ウラボスは、かなり元気にあいさつしても、しつこくなかなか倒れず、最後は全校みんなの大きな大きなあいつの声で倒しきりました。ウラボスのいない中仙小にしたいですね。

『ちょっとい～参観』　第１弾

今年も、「子どもが主役の授業」「“楽笑（らく SHOW）”な授業を目指して全校で取り組んでいます。その中で『声』にもこだわることで、全校のあいさつが、またよくなったし、朝の歌や授業中の反応がとても明るく元気になってきていることをうれしく感じます。

①６月２３日（金）　３年生・道徳「一本のアイス」（正直・誠実）

今年度の「貯っ問い～」のスタートは、３年生！昨年から取り組んでいる「子ども主体の授業」を目指して４月から育ててきたことがはっきりと私たちに伝わりました。リレーでの発表のつなぎ合いや、子どもが子どもに話す授業、３人グループでの学び合い。そして、何よりも学校の研究の方向や道徳の授業づくりや評価をしっかりと意識しながら、３年生としての「授業規律」の育ちも見られました。育ててきたことがわかる授業を見せてもらえることは、とっても勉強になりました。

突然の「子ども参観」をした２年生も「かっこいい～」と、憧れを抱いたそうです。

②６月２６日（月）　２年生・生活科「どきどき　わくわくまちたんけん」

校内研修の柱や先輩に教えられたことを、素直に「まずやってみようとしている」ことが若い先生の最大の魅力の一つです。「３人グループでの学び合い」「ホワイトボードや短冊の活用」「めあてと振り返りのある学び」等々、継続することで、やり方にも慣れて、自然に学び方が身に付いています。

そして、何よりも子どもたちと先生の関係が「ひらけている」ことがすばらしい！友だち大好き、笑顔いっぱいで勉強できる２年生です。教室が、安心できる居場所になっていることが、ちゃんと学びの土台となっています。

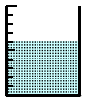
③６月２７日（火）　４年生・算数「小数のしくみを調べよう」

４月から、先生と４年生ががんばってきたことがが見える授業でした。
まずは、「？」と「！」からの問いづくりが当たり前にできるようになってきていること。そして、“自分で”「めあて」をもって学び、“自分で”ゴールする学び方のイメージを子どもたちがもつことができていること。それから、「声」を大切にした授業づくりも短期間で成果を出すことができていました。
このように、学校の研究の方向性や新しい提案に果敢にチャレンジする姿は、学級の子どもの確かな成長にもつながるし、若手の先生方にとっては、身近な目指す見本となって学校の活性化につながっています。

④６月２８日（水）　１年生・音楽「はくにのって　リズムをうとう」

丁寧に教材の準備にかける「ぱわぁ」！　声の「ぱわぁ」！　そして、この１年生の４月からの集団としての育ちに『まいった』です。こんな授業を、校内で見せてもらえることに感謝しかありません。
今日の授業で本当に身に付ける力がはっきりしていて、「子どもたちに任せること」が鮮明になっていることもすばらしいところです。このバイタリティーの土台は愛情と熱意。つまり、時間をかけているということだと思います。大事なことには時間がかかります。手間が必要です。決して「ぱっと」できている授業でないですね。
このような「ちょとい～参観」のエキスが校内に広がることを願っています。

令和５年度　第１回指導主事訪問　　うめ組 と もも組



６月１５日（木）今年の本校の研究授業がスタートしました。
どちらも、水のかさを量って小数のしくみを調べていく１時間目の勉強です。
１／１００の位まで発見して、いろんな重さや長さにも小数が使われていることに応用されていきました。
どちらの学級でも、子どもの実態に応じた勉強の仕方が、とてもよく工夫されていました。
うめ組では、自分の考えを黒板上にプレートで表現したり、目盛りが大きくて読みやすいメスシリンダーを使ったりして、スムーズに『自分で考えること』につながっていました。
もも組では、バスケットの審判になりきった先生が実際の生活場面から授業をスタートして、デジタル教科書やタブレットを自然に使った授業で、『楽しく学ぶこと』につながっていました。

みんなのがんばり

大仙市読書通帳
　１００冊賞　　２年
　　５年
※今年も、まずは　“全員が５０冊賞”　を！
　そして、「みんな読書が好き」になれるように
　取り組んでいきます。